

支部だより

令和5年度総会は5月22日に開催します

コロナ禍も収まりを見せつつあり、3月13日以降のマスク着用については、「個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断が基本となす」とされ、5月8日からは新型コロナウイルスの感染症は“季節性インフルエンザ”等と同じ「5類」にする方針であることが政府から発表されています。また海外からの水際措置についても一部の対応を覗き終了する方向にあることも表明され、海外からの渡航者が戻りつつあり、観光客をはじめとする市場の動きについては、“以前の生活”を取り戻しつつある流れが起きています。

そうした“コロナ禍明け”ムードが感じられる、5月22日、文京支部の総会を、東京ドームホテルで開催します。詳細は別途ご案内となりますが、多くの方のご参加をお待ちしております。なお、東京都印刷工業組合の支部再編などの動きが出ております。それについての説明会を、総会審議の後に行う予定です。



令和4年度総会の様子

【令和5年度 文京支部総会】

*支部再編についての説明会も予定しています

日時：5月22日(月) *19時～懇親会もあります 会場：東京ドームホテル

◎文印亭を真冬の屋形船で行いました

第34回文印亭を、2月25日、屋形船で行いました。浅草橋・鈴木屋さんの船で、真冬の屋形船も堪能する趣向となり、春風亭一蔵師匠をお招きして、20名が落語を堪能しました。

◎顧問・相談役会を開催しました

顧問・相談役会を、2月6日、上野とりすき会席「韻松亭」で行いました。当日は、顧問3名、相談役2名、正副支部長4名、監事2名が出席。アフターコロナを感じつつ、現在の組合および業界の状況や文京支部についてなど意見交換を行いました。

賛助協力会 会員企業一覧

(有)インキ屋マイティー	Tel.03-5802-7660	誠伸商事(株)	Tel.03-5751-3011
(株)大塚商会	Tel.03-3514-7625	(株)T&K TOKA	Tel.03-3960-5101
コニカミノルタジャパン(株)	Tel.03-6311-7820	(株)モトヤ	Tel.03-3523-8711
(株)小森コーポレーション	Tel.03-5608-7804	リコージャパン(株)	Tel.03-6837-8800
サカタインクス(株)オフセット事業部	Tel.03-5689-6614	リョービ MHI グラフィックテクノロジー(株)	Tel.03-3927-1031
(株)桜井グラフィックシステムズ	Tel.03-3643-1131	(学)日本プリンティングアカデミー	Tel.03-3811-2734
(株)ショーワ	Tel.03-3263-6141		

組合員数 60 社（令和5年 4 月 14 日現在）

2 / 3

◎文京区博覧会(ぶんぱく)に参加しました

文京区主催の、区内の中小企業、産業団体等が一堂に会して展示、実演、物販などを行う文京博覧会（通称：ぶんぱく）「文京博覧会 Re_2023」が、1月27日と28日の2日



ぶんぱくに出展したセントラル印刷(株)

間、文京シビックセンター1階と地下2階で行われました。

会場では、展示や体験など含め、区内の産業・商業・伝統工芸等の魅力や新しい文京区の側面が紹介されました。なお文京支部からは、(有)祥山堂とセントラル印刷(株)が出展し、オリジナル商材やグッズを販売されました。



ぶんぱくに出展した(有)祥山堂

◎「組合員まつり in TOKYO」に参加しました

東京都中小企業団体中央会による「組合員まつり in TOKYO」が、1月18日と19日の2日間にわたり、東京国際フォーラムで開催されました。今回は東京都印刷工業組合もブースを出展し、文京支部からは榎木元省美堂が出展しました。会場には様々な業界の組合が出展し、異業種との情報交換も活発に行われました。



組合員まつりの東印工組ブース

【2022年のイベントから】

◎行く年 来る年 師走の集い

文京支部の年末恒例の「行く年 来る年 師走の集い」が、2022年12月5日、ホテル椿山荘東京で開催されました。コロナ感染対策も考慮にいれて着席式で行われ、新年に向けて気持ちを一新する会となりました。なお、アトラクションでは、物まねタレントのニセキン氏を招いて、様々な物まね芸が披露され盛り上がりました。



「行く年来る年 師走の集い」で挨拶する
木元支部長



晴天のもとで行われた「敬老の集い」で記念撮影

◎敬老の集い

東京都印刷工業組合による「第54回敬老の集い」が、2022年10月4日、明治記念館で開催されました。77歳以上の該当者283人から44人が出席。当日は儀式殿で参拝、中庭での記念の集合写真撮影、和やかな懇親会など、長寿と健康を祝いました。

業界関連の話題

① 組織運営改革プロジェクトチーム発足し、支部再編の答申まとまる

東京都印刷工業組合は、3月16日に行った第7回理事会において、組合組織運営改革についての答申を発表しました。答申された“組合組織運営改革”への取り組みは、令和4年度の事業として、検討機関「組織運営改革プロジェクトチーム」を発足し、改革に向けて計画をスタートさせてきたもので、同プロジェクトチームでまとめた内容が、16日の理事会で発表されました。

具体樹には、現在ある22支部を9支部へ再編していくというものです。

支部再編にあたっては、支部員数、従業員数、地理的問題、行政区、選挙区、代表者年齢、青年会人数、財政状況、風土・文化などから判断したものです。統合、再編された新支部は、支部名を改めることとなります。

組織運営改革プロジェクトチームが提案した再編案

1	千代田（67社）	6	北・荒川・足立（114社）
2	日本橋・京橋（107社）	7	豊島・板橋・練馬（106社）
3	港・城南・山之手（115社）	8	墨田・江東・墨東（171社）
4	新宿・城西・杉並（122社）	9	三多摩（34社）
5	文京・上野・浅草（139社）		

ただし、現在の支部名は地区名に細分化するなど行政区や選挙区の窓口となるべく、これまで通り残すべきでもありと考えており、具体的な新しい支部体制への再編には慎重に議論し、東印工組三役・常任役員が各支部に対して横断的な協力と丁寧な説明、継続的な支援も必要であるとしています。

再編についてのきっかけは、組合員減少が続いており、支部運営へ影響が出ていること、今後も組合員減少が予想されることについての考えを求められたことを受けて始まりました。そこで同プロジェクトチームを発足し、昨年6月から12月まで検討を重ねてきました。その結果として、主に①人材問題、②支部財政問題、③情報伝達問題、④委員会派遣問題の4つを解決すべく、再編の具体案が答申されました。

組織改革について滝澤理事長は、「10年、20年先を考えた時、力強く運営できる組織が必要と考えた。組合員の減少は少なからず組合活動に影響が及んでいることは否定できない。現在の22支部には、各支部とも歴史と伝統があり愛着もあることは理解している。しかし今後、印刷産業として社会の要望に応え、社会的責任を果たすために持続的発展をすることが求められており、組織運営改革は避けて通ることはできないと判断した」と述べています。なお検討を進めるにあたり滝澤理事長がプロジェクトチームに諮問事項として、①持続可能な組合とするための支部再編も含めた組織運営体制の検討、②組合事業を効果的に組合員に浸透させる方策、の2点を提示し、検討が進められています。

答申内容によると、東印工組の現状は、組合員数が18年間で半減、ピーク時との比較では3分の1に縮小（3月16日時点で945社）しており、事業運営の基盤となる収入源や組合組織運営に影響があると指摘しています。支部再編の目標については、強くしなやかな組織を作り、情報が澁みなく行き渡ることで迅速な対応ができ、確実に価値を提供し、かつ長期的に持続可能な組織に生まれ変わる事こそ目指す未来であるとしています。そのための変革であり、その第一歩が組織運営改革であるとしています。